

令和 5 年度 農業委員会及び農協の女性登用の促進に関する状況 － 結果のポイント －

この度、令和 5 年度における農業委員会及び農協の女性登用状況の結果についてポイントをまとめたところ、結果のポイントは以下のとおり。

【農業委員会の女性委員登用について】

- 女性比率や目標・計画の設定状況等、女性登用の取組が全体的に進んでいる。
- 都道府県別では、令和 3 年度に本調査を始めて以来 3 年連続して栃木県が 47 都道府県のうち最も高い女性委員比率となった。
〔 1 位：栃木県（22.6%）、2 位：宮城県（20.6%）、3 位：山口県（20.5%） 〕
- 女性農業委員比率の伸び率（前年度比）では、沖縄県が最も高くなっている。
〔 1 位：沖縄県（+5.0%）、2 位：石川県（+4.3%）、3 位：岐阜県（+3.3%） 〕
- 女性委員比率の最も高かった農業委員会は、沖縄県座間味村（66.7%）だった。
- 前年度まで女性委員がいなかった農業委員会において、今回の改選で最も女性の委員比率を伸ばしたのは、石川県野々市市（+30.0%）だった。

【農協の女性役員登用について】

- 女性比率や目標・計画の設定状況等、女性登用の取組が全体的に進んでいる。
- 都道府県別では、山口県が 47 都道府県で最も高い女性役員比率となった。
〔 1 位：山口県（20.0%）、2 位：愛知県（19.3%）、3 位：大阪府（16.9%） 〕
- 女性役員比率の伸び率（前年度比）では、女性役員比率が最も高かった山口県が最も高くなっている。
〔 1 位：山口県（+6.4%）、2 位：鳥取県（+5.6%）、3 位：愛知県（+4.1%） 〕
- 女性役員比率が最も高かった農協は、愛知県なごや農協（29.6%）だった。
- 前年度まで女性役員がいなかった農協において、今回の改選で最も女性の役員比率を伸ばしたのは、北海道余市町農協（+20.0%）だった。

（以上）